

「定数1なら橋爪さんだこて」の声、党派を超えて次々



橋爪支持を吉川区全域に広げてください

このままでは、橋爪のりかずは「善戦」で終わってしまいます。ご家族、親戚、知人、友人などに至急、支持を訴えてください。

市政レポート、後援会ニュースの配布活動に参加してくださいませんか。雪があるのでたいへんです。

選挙募金にもご協力をお願いします。

写真は国田での「語る会」

橋爪のりかず後援会ニュース
発行：日本共産党吉川町後援会
2005年1月 NO 3
電話548-3628

部内資料

元小学校長など教育関係者、農民、 弁護士、主婦などが応援メッセージ

吉川区から選出される市議会議員はたったの一人。定数一の議席をめぐって激しいたたかいが続いています。こうしたなか、自民党支持者、元社会党町議、元小学校長などから党派を超えた応援・期待メッセージが届いています。お寄せいただいた方々の全部のメッセージは近く『市政レポート』号外にてお知らせしますが、今回は原之町の細井孝さんのものを掲載します。

定数一なら、橋爪のりかずさんです。合併による市議会に定数特例が適用され、吉川区選出の議員数が一名という厳しい数字が示されたその時点で、私は、「定数一なら、橋爪さんだこて」そう思いました。

また、朝晩多くの小中学生や高校生の登下校姿に接するのですが、「この子らが生きる未来を真剣に考えてくださる議員さんは、橋爪さん、あなただ」。出馬声明を見て、心に決めたのです。

大事な大事なこの選挙、「保守だ、革新だ」などと騒ぎ立てた従来の狭い考えでは、新生吉川区の未来はありません。

行動力・実行力抜群で、心暖かく、こまやか。人柄も立派な橋爪さんを尊敬・信頼されている区民は大勢おられるでしょう。私も友人「橋爪党」の一人です。新市議会には党派を超えて橋爪のりかずさんをおくりこみましょう。

海も駅も、そして国道も共有できることになった吉川区を含む新上越市に、いい「春よ来い」。

『夕日の小道』の作者・元山古志村立東竹沢小学校長

細井

今回、メッセージを寄せてくださった方々
(敬称略。一五日現在)

足立定夫

(弁護士)

小田順子

(朗読・主婦・竹直)

鈴木寛一

(稲作農家・代石)

高橋正彦

(元源小学校校長)

長崎 明

(元新潟大学学長)

細井 孝

(元小学校長)

山岸祐子

(トマト栽培農家)

山本嘉治

(元社会党町議)